

『福祉だより信州』が届けられた。見出しの「誰もが自分らしくくそして共に支えあえる地域づくり」に目が留まった。

共に支えあえる地域



大門三番町 佐藤栄一さん

地域の公民館報に掲載された記事を読み出し、引用する。大門神社の参拝者に気付く事もなく、拜殿の前に一對の石燈籠がひっそりと建っている。陰刻が鮮明ではないが文字は読める。一番上に寄進、その下に紀州藩左側に福田儀左工門、右側に安永四末載三月（1775年3月）、これだけで他に説明はない。まして福田儀左工門の人となりを知るよしもない。身勝手な推測をすると、神社近辺で病に苦しみ途方に暮れていた処を助けられ治癒するまでの間、白米の食事を届け、助け支えてくれた地域の人々への感謝の寄進ではなかったか。私も共に支えあえる地域づくりに微力を尽くしたい。

市民の声



広丘野村 近藤昭紘さん

中学生時代に、王さん（元巨人軍等監督）が高校生で、地元高校と対戦している試合を見ましたが、これが東京の野球が、高校生レベルをはるかに超えたプレーは、私の心に強い感動を与えてくれました。あときの県営野球場（松本浅間）、今は思い出の場所！

見る限りでは充実した説明会がなされたと思います。

又、研究委員会の皆さんの研究成果が随所にあつたと感じます。新体育館はスポーツ及びレクリエーションの普及、振興を図ることにも、全国的、全体的レベルの精鋭たちの熱戦を間近に見ることが出来る、観るスポーツ、感動するスポーツの振興も付け加えられ、次代の子供たちに、健康スポーツ宣言都市としても誇りや夢がもてるような、多目的体育館であって欲しいと思います。

市議会レポート

進化しつつある

広報委員会

「議会改革は広報活動から」との精神で、現在様々な活動が展開されています。

正確な情報を市議会として責任を持って市民へ提供していくために、「広報委員会のあり方」について、特別委員会としての位置づけが検討されています。

又、昨年から議会活動にお



6月8日に「広報委員会のあり方について」市民や全議員に対して明確に示すよう議長に申し入れを行った



より市民に議会活動が見えるよう広報委員会ではさらに活発に活動します

9月定例会の予定

| | |
|-------|-------|
| 8月31日 | 開会日 |
| 9月7日 | 一般質問 |
| 8日 | |
| 9日 | |
| 10日 | |
| 11日 | |
| 14日 | 委員会審査 |
| 15日 | |
| 16日 | |
| 17日 | |
| 18日 | |
| 9月24日 | 閉会日 |

会議の日程は変更になる場合があります。間近になりましたら議会事務局へお問い合わせください。（ホームページでもお知らせしています）
議会事務局
TEL (0263) 52-0280 (内線1411)
URL <http://www.city.shiojiri.nagano.jp>

市議会広報（市議会だより・市議会ホームページ）へのご意見・ご感想は塩尻市役所4階の議会事務局まで

ける政務調査費の使途基準、支出内容が更に明確になりました。今回の市議会だよりには各会派ごと支出内容を掲載した編集にし、情報公開を行いました。

議会あれこれ

◆調査研究に資するための必要な経費、この政務調査費を議員は年間一人9万円を会派ごとに交付される。市民の関心は何に使用されたのか。議会では目的別に使われた経費の表現方法が議論された。キーワードは透明性。「市民にわかりやすく」。

◆先の5月臨時会で市民に開かれた議会を目指すべく、議会基本条例の制定を任期中の目標として掲げた正副議長が誕生した。自らが掲げた目標を議会全体のものとして共有させることはリーダーの条件である。まずは、有言実行のリーダーシップを期待したい。

◆JR不採用問題の早期解決を求める請願が不採択となった。一企業の雇用問題に過ぎないとの意見が主な理由だが、国策によって民営化されたことで発生した問題であり、国はそれを解決する責任があるのではないか。

議会広報委員会

- 山口 恵子 ○古畑 秀夫
 - 金子 勝寿 石井 新吾
 - 永井 泰仁 森川 雄三
 - 青柳 充茂 中原巳年男
 - 鈴木 明子
- ◎委員長
◎副委員長